



# さんびょう 三錨 VI

四日市市立富洲原小学校  
学校だより

No. 3

平成29年 5月15日



先週は家庭訪問週間でした。お忙しい中、お時間を割いていただきありがとうございました。短い時間でしたが、お家の場所の確認ができ、保護者の方とのつながりを持つことができました。今後とも、学校と家庭が連携して教育活動にあたり、お聞かせいただいたことは、今後の指導に生かしていきたいと思えます。



## ◇ トトロ先生

本年度のALT（英語指導助手）は、カーリー デビッド（Curry David）先生です。アメリカ出身の方で、日本にも長く住んでおられるので、日本語もお上手です。大きな体で、今までの学校ではよく「トトロ先生」と呼ばれていたそうです。本当に、大トトロのような貫録と包み込むような優しさのある先生です。にこやかな表情やユーモラスなジェスチャーを交えた指導で、子ども達も引きこまれていました。年間で、5・6年生は22時間、3・4年生は6時間、2年生は3時間、1年生は2時間の授業が予定されています。給食も、各教室で一緒に食べていただきます。



## ◇ 食育推進プロジェクト

2年生が、「食育推進プロジェクト」の事業に応募し、栽培活動の支援をいただくことになりました。三重興農社の方に来校いただき、「畑の土づくり⇒苗（種）植え⇒野菜の世話⇒収穫⇒調理」という一連の栽培活動について、継続的に支援をいただけます。

4月19日（水）はその第1回目。「種を観察しよう」ということで、講堂の床に50種類ほどの種を並べていただき、それを順に観察させていただきました。一口に種といっても、様々な大きさや色や形があることが、観察して記録することで実感できたと思います。

そして5月1日（月）は、「苗植え体験」。たくさんの野菜の苗を用意していただき、2年生の学級園に、一人ひとり植えさせていただきました。ナス、ミニトマト、スイカ、オクラ、ピーマンなどなど、様々な種類の苗がありました。学級園は教室のすぐ外なので、世話をしながら、毎日成長が楽しみにできると思います。今度は、

6月にまた来ていただき、栽培の支援をいただく予定です。本当に至れり尽くせりの、専門家ならではのきめ細かなご支援をいただき、ありがとうございます。



## ◇ 「生徒指導学校訪問」を終えて

5月12日（金）の1・2限、市教育委員会指導課より2名の方に生徒指導学校訪問に来校いただきました。毎年この時期、順番に全小中学校を訪問していただきます。1限目は、全学級の授業参観。2限目に懇談を行いました。学校側から生徒指導に関する基本的な考え方や取組について説明し、指導課の職員の方から気づいた点について、まず以下のような評価をいただきました。



- 朝、学校へ来たら、全校でとても静かに朝の学習（ベーシックタイム）が始まっていて素敵だなと思った。
- どの学級も落ち着いて授業がなされており、子ども達はよくがんばって、先生の指導もきちんとして、学習環境も整理されている。
- 友達の発言をきちんと聞いている。一人ひとりの心の居場所がある。教室移動でいない教室も、椅子や机がきちんと整理されているなど、いいところをいくつも発見できた。
- 生徒指導についても、学校として大事なことをきちんと押さえてもらっている。（組織対応、0時対応（未然防止）、児童の情報交流、教育相談、各種調査等）

さらに良くするためにということで、以下のようなアドバイスもいただきました。

- トイレのスリッパを並べるなど、取組においては、なぜそれをするよいか、意味づけまできちんと伝えていく。
- まわりの子を育てることで、課題を持つ子に対応していくこともできる。
- 良い取組は、学校で情報交流しながら、「モデルの共有」を進めていく。
- 一方でこういう見方もできるよねと、学校がチームとして子どもを見ていくようにする。

ご指摘を参考にしながら、さらに良い学校づくりをめざし、学校全体がチームとして取り組んでいきたいと思えます。

## ◇ よく学び よく遊べ

富洲原小の子は、本当によく遊びます。天気の良い日の休み時間には、次から次へと運動場へ出てきて、あちこちで思い思いの遊びが始まります。ドッジボール、バスケットボール、サッカー、フットベースボール、一輪車、竹馬、ブランコ、すべり台、鉄棒、タイヤジャンケン、追いかっこ、虫さがし・・・。天気の良い20分休みや昼休みは、1年生から6年生まで大半の子が外で遊んでいる感じです。その多さとバラエティの豊富さには驚きました。昔から「よく学び、よく遊べ」と言います。思い切り体を動かした後は、気分も切り替わり、脳も活性化して、勉強



にもより身が入るのではないでしようか。

